

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	NPO 法人ケアブレンド	
代表者名	中山 良子	
連絡先	TEL : 022-209-3491 FAX : 022-209-3491	E-mail jam19801218@gmail.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	ケアブレンドカフェ
事業の目的	支えあえる地域社会を目指して、地域の多様な主体(医療、福祉、教育、その他の業種、職種、住民、学生、自治体等)が集まり、交わり、繋がり、異なる価値観や異なる分野のそれぞれの観点を活かし連携・協力しながら地域の課題解決に繋がるヒントを模索する場所を提供する為、橋渡し役を担う。また、それらの活動を通し、目に見えない課題の早期発見や潜在的なニーズを汲み上げる場所であるとともに、学生や子供達にとっての居場所や職業選択の幅を広げることを目指しています。これらの繋がりを通し地域の健康、安全に寄与するとともに災害時の協力体制を円滑にする取り組みを図ります。
事業の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症対策を実施した上で対面式の集いを開催 ●参加者は老若男女、年齢、国籍問わず誰でも参加できる ●前回のケアブレンドカフェ参加者を中心に、地域の支え合いに関心がある方々に声掛けを実施。 <p>・市役所職員の行政講話で聞いた情報を参加者が地域に伝えることで地域の安全や地域課題の関心の向上に繋げる。</p> <p>・参加者が他己紹介時に自分達が行っている活動を伝え関心を集め、交流の促進に繋ぐ。</p> <p>・世代ごとで楽しめる遊具等を設営することで多世代交流や居場所づくりに繋げる。</p>
活動の開始から完了までの流れ	<p>活動の開始は周知活動で始まり、ネットやSNSを使用せずに口コミだけの周知を徹底し、参加人数が不確定となることを防ぐことに留意。また、所属が明確な方を対象に声掛けを行うことで安全性に繋げる。</p> <p>開催は感染症流行期であり、感染対策を徹底する為、本助成金で得たプロジェクターやマイクなどを利用することで、間隔を空けての会場配置を可能にし、周知の段階から参加者の不安を払拭することができた。</p>

	<p>声掛けの中では、参加者からお手伝いに回ることを希望される方もおり、地道な周知活動の実用性を実感した。声掛けと同時に当日のスケジュール作成も並行して進め、参加者の層により臨機応変に内容を変更し、開催日を迎えた。</p> <p>開催後には開催内容をデータにまとめ、報告書を作成。イベント参加者及び協力者の事業所や学校などを周り、当日の主な感想を聞き込むのと同時にアンケート結果などを伝えた。</p> <p>また、次回開催に向けての周知活動も行い、今後の活動に向けての足掛かりとなるよう、様々な意見交換も行った。</p>
活動の成果と教訓	<ul style="list-style-type: none"> ・本会の協力者の半数以上が学生ボランティアであった。内訳は常盤木学園高校、聖和学園、多賀城高校、塩釜高校、白百合高校、松島高校、仙台大学、東北工業大学、東北福祉大学、東北大学、東北学院大学など。 学生方は、コロナ禍でボランティア活動をしたくてもできなかった為、直前の日程変更があったが参加を強く希望される方もいた。 ・セレモニーでは、利府や富谷の小学生達で構成されたファインビッツの他、聖和学園や常盤木学園のチアダンス、チアリーダー部のダンスが行われた。 学生達と同様に、コロナの影響で活動の場所が少なくなっていたことで、久しぶりに大きなステージで踊れることに喜んでいた。 ・聖和学園のボンボン作りも好評で児童だけでなく老若男女問わず作成希望者が多くいた。 ・参加者からはチアダンスに感動したとの感想が多く聞かれた。 ・参加者は行政講話を聞き地域のことに関心を持った方がいてパンフレットを持ち帰る姿も見られた。交流の時間では今後の活動に繋がる出会いとの感想も聞かれた。 ・それぞれの多職種が名刺交換を行うことで、連携の足掛かりとなったとの感想も聞かれた。 ・東工大生の取材を通し改めて仕事のやりがいや意味を実感する方もいた。
今後の展望など	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを通して、多職種多世代の交流に繋げることができたが、多国籍の交流には繋がっていないので、今後は外国人の方も参加できるように声掛けの範囲も広げていきたい。 ・また、講話では、警察官や市の福祉課の職員などがメインとなっているので、講話の内容を充実させる為、消防や防災などの分野での講話も依頼できるよう、他機関との関係性構築に繋げていきたい。 ・この他、感染症対策の徹底が今後もイベント開催の鍵となることから、感染予防を徹底する為、感染防止策となる必要物品の拡充と、ソーシャルディスタンスを行いやすい環境整備に努めていきたい。

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

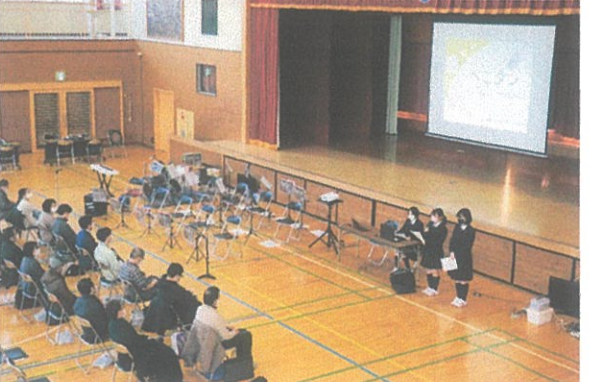
確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	300,000	
その他助成金	227,829	
自己資金	97,905	
合計	625,734	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
備品 (福祉活動助成金使用)	コードレスマイク プロジェクター スクリーン	300,000	297,558
印刷代	パンフレット 名刺 インク チラシ 用紙	50,000	94,799
交通費	ガソリン代	0	78,115
消耗品費	児童遊具代 文房具 感染症対策費	0	79,015
会場使用料		0	25,200
新聞図書費	児童書 書籍	0	45,605
謝礼金	講師謝礼代	0	3,000
助成金残金		0	2,442
合計		350,000	625,734

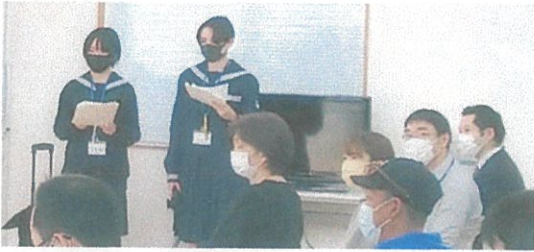
*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

多賀城市開催（ケアブレンドカフェ多賀城）





宮城野区開催（ケアブレンドカフェミヤギノ）





若林区 (ケアブレンドカフェわかばやし)



